

6. 活動の状況

○子どもの居場所づくり「ひだまり」の運営

豊学区地域学校協働活動推進委員会の委員 4 名により、放課後の活動として実施した。年間延べ人数で 550 名の子どもたちが参加、ボランティアは年間延べ人数で 200 名関わった。学習活動だけでなく、七夕、クリスマスなど、季節ごとの楽しい行事を行いながら、放課後の子どもたちの健全育成に努めた。

○地域と連携したダルマガエルの保護活動

6月24日、5年生が総合的な学習の時間の取組として実施した。講師をお招きしてダルマガエルについてのお話を聞いた後、実際に現場に出向いて個体数調査を行った。西大寺公民館に児童が作成したダルマガエルの保護活動のレポートを展示していただいた。



○「タウンミーティング」

6年生が総合的な学習の時間のまとめとして、豊学区の将来について考えた。自分たちが考えたことを地域の方に発表し、地域の方とともに豊学区の将来について話し合い、6年生が取組を実践した。



実施は1月18日に実施した。

6年生が考えたことを発表し、豊学区地域協働学校運営協議会、豊学区地域学校協働活動推進委員会、PTA代表に意見を述べてもらった。来年度は複数回実施する予定である。

○地域人材・事業所等による「夢」についての講話

6年生の総合的な学習の時間には「夢」について取り組んだ。地域にある事業所の社長である、学校警察連絡室、石原歯科・石原委員長、ニッカリの杉本社長にお話をしていただき、子どもたちが積極的に質問することで「夢」について深めることができた。



また、西大寺公民館の内田館長をお招きし、岡山市の夢であるESD, SDG'sについてお話をしていただいた。なお、西大寺公民館との連携、協働を進めるため、内田館長、村田主任には豊学区地域学校協働活動推進委員会の委員をお願いしている。



○ 学区内の事業所との連携による学習活動

学区内の事業所見学については、いちご農園マルシェ・郵便局(2年)、東部クリーンセンター・平林金属・エコ便・消防署(3年)が実施した。それぞれの事業所が工夫を凝らして事業所の紹介をしてくださった。

子どもたちにとっては、地域にある身近な事業所であり、小さい頃から事業所の場所等は知っていた

が、何を作っているのか、何をしているのかはわかりにくい存在であった。その事業所を見学することにより、それらの事業所をより身近に感じることができた。

事業所にとっても、地域とつながるチャンスの一つになったのではないかとと思われる。



○「昔の豊小学校」

1月30日に学区にお住まいの岡崎さんに来校していただき、昔の豊小学校についての話を3年生が聞いた。



